



■発行

社会福祉法人

九重町社会福祉協議会

九重町大字後野上17-1

TEL 0973-76-2500(代)

0973-76-3267

FAX 0973-76-3835

Eメール: smile9@oct-net.ne.jp

ホームページ: [九重町社会福祉協議会](#)

第114号

# ふれあい

社会福祉だより

九重町民生委員児童委員協議会（5月全員協議会）

住民の方々が安心して暮らしていくために福祉のまちづくりを  
推進しています

（詳しくは4ページに掲載しております）



# 令和6年度 九重町社会福祉協議会事業報告

## 生活支援・支え合い活動について

- いきいき夢サロン(581回 延べ4,377名)
- 多世代交流共生共食の場  
(東飯田地区 12回 663名、野上地区 12回 531名)  
(飯田地区 11回 640名、南山田地区 12回 808名)
- 軽度生活援助事業 91件 197.75時間
- ささえあいサービス事業 231件 667.75時間  
(くらしのサポートセンター東 362件 591.45時間)  
(くらしのサポートセンター飯田 83件 208.55時間)  
(くらしのサポートセンター南 127件 342.45時間)
- ふれあいプラザサロン(47回 延べ620名)

## ボランティアセンター事業について

- ボランティア役員会・基礎講座(6回 延べ33名)
- 手話奉仕員養成講座(22回 延べ22名)
- 献立検討委員会(6回 延べ29名)
- 玖珠郡災害ボランティアネットワーク協議会研修会(2回 延べ212名)

## 介護予防事業について

- ほほ笑み教室
- 通所型短期集中リハビリ教室
- 訪問型短期集中事業

## 介護保険事業

- 通所介護事業
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 居宅介護支援事業

## 障がい者福祉サービスについて

- 障がい者ホームヘルプサービス事業
  - 障がい者デイサービス事業
  - 障がい者相談支援事業
- など

## 地域福祉活動

- 福祉器具の貸出(33件)
- ふれあい備品貸出(48件)
- 無料法律相談所の開設(6日 28件)
- 障がい者年金相談所の開設(5日 7件)
- 生活福祉資金貸付事業(緊急小口貸付 2件)

## 九重町地域包括支援センター

- 九重町地域包括支援センター(対応件数4,246件)
- 総合相談支援業務(233件)
- オレンジフェスタ2024開催
- オレンジカフェ開催(21回 159名)
- 認知症サポーター養成講座(3回 延べ37名)

## 児童福祉について

- 子育て交流センター(252日開館、延べ8,310名)
- 児童館特別活動(42回、延べ711名)
- 児童ふれあい交流事業
- ブックスタート事業
- 図書、おもちゃ図書館 など

## その他の事業

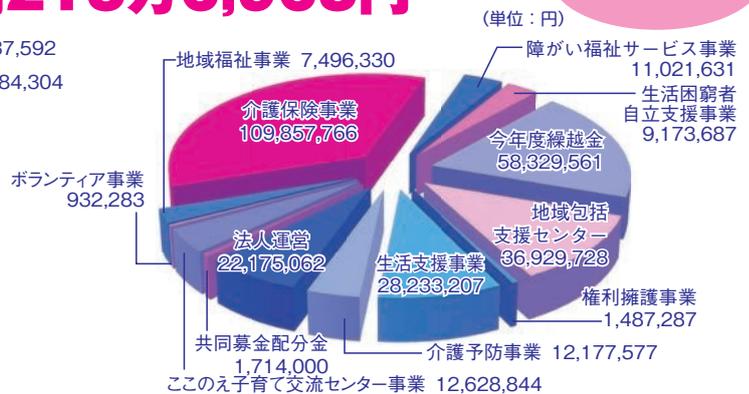
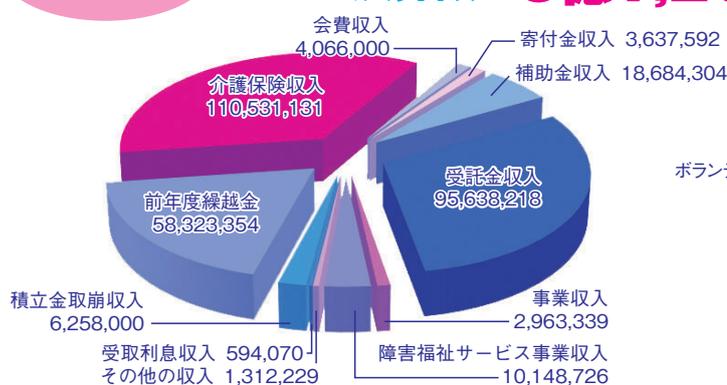
- コスモスのつどいの実施(2回、延べ43名)
- 広報紙発行(「ふれあい」3回、「すまいる」9回)
- ふれあい郵便事業(毎月約431名、延べ5,174名)
- 日常生活自立支援事業(212件支援)
- 生活困窮者自立支援事業(相談件数 67件)
- 第23回福祉ふれあい祭り・第50回社会福祉大会の開催(被表彰者6名、参加者約300名) など

## 令和6年度 九重町社会福祉協議会収支決算書

### 収入の部

# 決算額 3億1,215万6,963円

### 支出の部



<皆さんより頂く会費や寄付金は次のように使われました。>

### (会費) 4,066,000円

- ボランティアセンター事業の一部 ..... 450,522円
- 生活困窮者自立支援事業の一部 ..... 110,000円
- 各種団体助成金 ..... 1,592,000円
- 広報活動の一部 ..... 278,684円
- 事務費等の一部 ..... 1,634,794円

### (寄付金) 3,637,592円

- 地域福祉活動推進事業の一部 ..... 801,062円  
(マイクロバス等の維持費、地域福祉活動等)
- 第23回福祉ふれあい祭り・第50回社会福祉大会 ..... 141,021円
- 軽度生活援助事業の一部 ..... 81,598円
- 生活支援事業の一部 ..... 568,790円
- 事務費等の一部 ..... 2,045,121円

# 令和7年度 九重町社会福祉協議会事業計画

## 基本目標

### 基本目標 1

#### 支え合いとふれあいのある地域づくり

1. 支え合い意識の醸成と近隣のつながりづくり
2. 活動の場と交流・寄り合いの場づくり
3. ボランティア・支え合い活動の推進
4. 地域共生、福祉教育の啓発・普及
5. 九重町地域福祉計画との整合性・一体的推進

### 基本目標 2

#### 誰も取り残さない、安心して暮らせる地域づくり

1. 包括的支援事業の推進
2. 相談しやすい体制づくり
3. 地域福祉権利擁護事業の充実推進
4. 孤独、孤立を防ぐ見守りネットワーク、住民活動の推進
5. 在宅生活を支える福祉サービスの充実
6. 子育て支援事業の推進

### 基本目標 3

#### 誰もがいきいきと暮らせる地域づくり

1. 支援を必要とする人への自立支援
2. 認知症と共に生きる地域づくり
3. つながりが生れる地域づくり

### 基本目標 4

#### 安定した法人運営と信頼される組織づくり

1. 社会福祉協議会の経営改善・再構築
2. 各種募金事業の推進

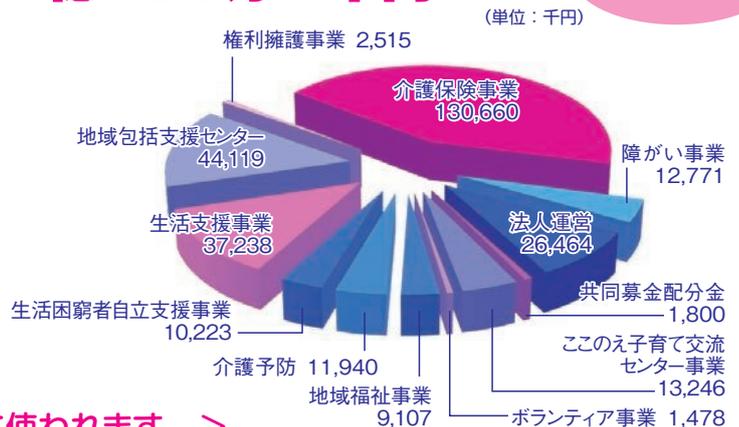
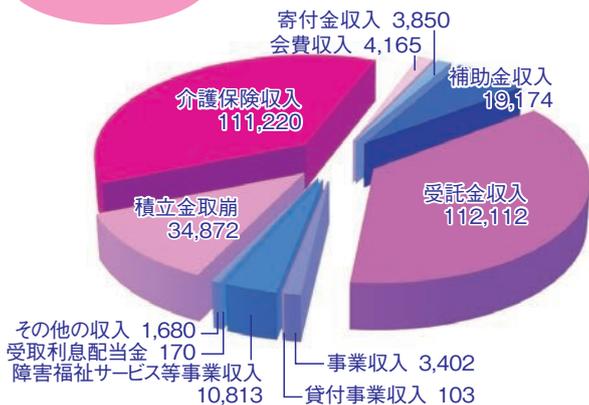


## 令和7年度 九重町社会福祉協議会当初予算

### 収入の部

予算総額 3億156万1千円

### 支出の部



<皆さんより頂く会費や寄付金は次のように使われます。>

### (会費) 4,165,000円

- 生活困窮者自立支援事業の一部 ..... 223,000円
- 各種団体助成金 ..... 1,874,000円
- ボランティアセンター事業の一部 ..... 689,000円
- 事務費等の一部 ..... 1,379,000円

### (寄付金) 3,850,000円

- 地域福祉活動推進事業の一部 ..... 1,544,000円 (地域福祉懇談会、マイクロバスの維持費等の一部)
- 福祉ふれあい祭り・社会福祉大会経費 ..... 486,000円
- 広報誌発行 ..... 290,000円
- 軽度生活援助事業 ..... 190,000円
- 生活支援事業の一部 ..... 767,000円
- 事務費等の一部 ..... 573,000円

令和7年度もご支援ご協力を  
よろしくお願いいたします。

# 九重町民生委員児童委員協議会

「きづき、つなぎ、みまもり」ます！

## 民生委員児童委員



九重町民生委員児童委員協議会  
会長 酒井利幸さん (東飯田地区)

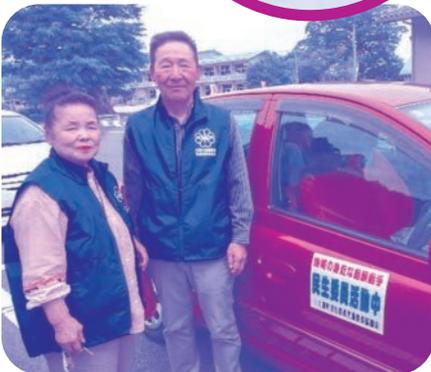
九重町民生委員児童委員協議会の会員は、民生委員児童委員37名と主任児童委員4名で構成されています。

私たちの活動は九重町が掲げる地域共生社会の実現をめざす一役を担っています。

例えば、住民に寄り添った見守り訪問等で生活不安を抱えている人を発見し相談支援を行ったり、認知症や生活困窮者、災害時要援護者、児童及び子育てに悩む保護者等の把握と支援のため、日頃からの声掛けや日常的な援助活動を行っています。

これからは、支え合いの地域づくりを住民で進める取り組みが重要となる中で、私たちも住民型の支え合い活動や多様なサロン活動に関わっていききたいと思っています。

地域でのつながりを築いていくため、是非私たちへの声かけをよろしくお願いいたします。



「民生委員活動中」のステッカーを車に貼り、誰もが安心して生活できる地域づくりの為に日々活動しています。

また、学校訪問をはじめ地域や子どもに関する行事に参加し交流したり、会議や研修会で情報や知識を得て、子どもや子育て家庭への支援活動に取り組んでいます。

また、学校訪問をはじめ地域や子どもに関する行事に参加し交流したり、会議や研修会で情報や知識を得て、子どもや子育て家庭への支援活動に取り組んでいます。

## 主任児童委員



主任児童委員 (飯田地区)  
代表 相沢加代子さん

主任児童委員は、民生委員児童委員の中から、主に妊婦さんや乳幼児・児童など、子育て家庭に関することを専門に担当し町内4地区に1人ずつ任命されています。

私たちは、妊産婦の時期から将来の九重町を担う子どもたちが健やかに育つことを願って、保護者や関係機関と連携して子どもたちを見守っています。

## くらしのサポートセンター活動報告

### くらサポ東 ～ 活動を通して気にかける存在へと ～



作業後、お茶のみで交流

立ち上げから7年目を迎えたくらしのサポートセンター東では、作業の一環として利用会員と活動会員との交流を盛り込んでいます。

それは、立ち上げ当初から大切にしてきたことであり、顔を見て話しをすることで日頃の様子が分かり、さらに活動会員が利用会員の状態を知ること、日常的に気にかける存在へと変わり、作業以外でも声をかけたり、心配したりというつながりが生まれています。

### くらサポ南 ～ くらサポ南を知ることから始まる ～

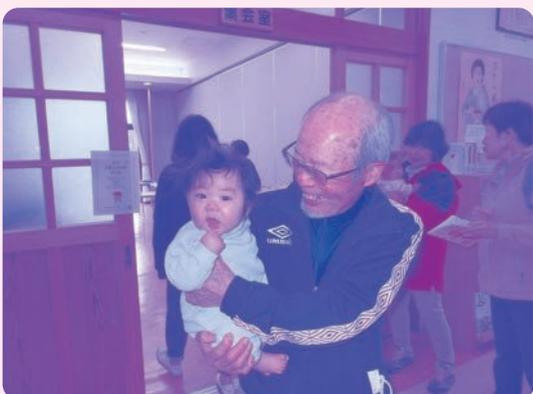


作業中のお話も活動の一つ

くらしのサポートセンター南では、まずはくらしのサポートセンター南の存在を知ってもらおうと、毎月「くらサポ南だより」を発行し、病院等に設置したり、南山田地区の全戸に配布するなど周知活動を行っています。

中には南山田に移住し公民館に寄った際、くらサポ南の存在を知り依頼をするようになった方もいます。地域を良く知る活動会員と顔見知りになることで、少しずつ地域に溶け込んでいます。

### くらサポ飯田 ～ 人と人、人と地域がつながる ～



くらサポカフェで知り合いに

くらしのサポートセンター飯田が目指しているのは、小さな活動から人と人とつながり、大切なつながりへと変わることです。毎月飯田公民館で実施している寄り合いカフェでは、飯田地区で暮らす多くの人が出会い、多くの参加者を笑顔にしています。

また、出張寄り合いカフェでは、サロンの開催されていない地区や気になる方の自宅の庭先で開催するなど、孤立予防や孤独感の解消につながるよう活動会員が精力的に活動しています。

## 誰もが集う 多世代地域食堂

平成29年から続く各地区公民館で開催されている多世代地域食堂。子どもから高齢者まで誰もが参加でき、活躍できる場として親しまれるようになってきました。参加のかたちは様々で、調理・レクリエーション・送迎・食材提供・受付・会場準備など自分のできることで参加することができます。令和6年度からは、社協職員と地域の方が協力して送迎をしてくれるようになり、これまで参加できなかった方も参加できるようになりました。参加者からは、「行きたいと思よかったんよ。また来ます。」「久しぶりに同級生に会ったんよ。会えると思わんかった。」など嬉しい言葉をいただいております。また、幼い子どもと触れ合う機会の少ない高齢者は、昔を思い出し、いつまでも離れたくない様子で子ども達との触れ合いを楽しんでいます。



### のがみ😊ふれあい食堂

のがみ😊ふれあい食堂では、薄れつつある人と地域のつながりを回復し、顔の見える関係から誰もが安心して住み続けられる野上を目指し、7年前から活動を続けています。みんなが一つの輪になり、全員で同じ活動に取り組み絆を深め、食堂のメニューは実行委員のみなさんが考え、いつも季節を感じる食材で作られた料理が並びます。



現在、のがみ😊ふれあい食堂では、一緒にメニューを考えてくれる方や、一緒に調理をしてくれる仲間を募集しています。私たちと一緒に、「誰もが集える多世代食堂」を通して、野上地区を盛り上げていきましょう！合わせて、食堂で使用する食材の募集も行っています。





# 九重町地域包括支援センター便り



## 大分オレレンジカンパニー

(認知症にやさしい企業・団体)

### 登録制度について

企業・職域組織単位で認知症サポーター養成講座を受講した事業所を「大分オレレンジカンパニー（認知症にやさしい企業・団体）」に登録のうえ、交付した「オレレンジテッカー」を店舗や事務所等に掲示することで、町民に認知症サポーターの存在や活動を普及啓発します。

#### 【企業・団体のメリット】

- 認知症の方にやさしく対応できる企業（店舗や事務所）であることをアピールできます。
- CSR（社会的責任）の側面から企業のイメージアップにつながります。
- 社員教育等で認知症を学ぶきっかけとなります。
- 介護と仕事が両立できる「社内風土」を考えるきっかけとなります。

4月に飯田高原郵便局で認知症サポーター養成講座を実施。九重町では2件目の大分オレレンジカンパニー登録となります。



養成講座の様子

大分オレレンジカンパニーの登録は、金融機関、官公署、小売業、商工会などあらゆる企業・団体が対象となります。登録要件は、概ね半数以上が認知症サポーター養成講座を受講していることです。 ※介護サービス事業所、医療機関は対象外です。

## 令和7年度 九重町地域包括支援センター 職員体制

- \* 担当地区は一応決めています。担当地区以外のことでも柔軟に対応しています。
- \* 職務内容以外にも職種で連携して業務を行っています。



私たちが担当します

お気軽にご相談ください 電話:76-3863 FAX:76-3835

氏名 (職種)	担当地区	職務内容
藤本理香 保健師	南山田	高齢者の方々が住み慣れた地域、ご自宅でいつまでも過ごすことができるように、また、要介護状態にならないように、相談窓口や電話など、様々な場で相談や情報提供、アドバイスを行います。
佐藤三鈴 主任介護支援専門員	東飯田	介護支援専門員への指導、助言や関係機関との調整を行います。
永楽直子 介護支援専門員	飯田	介護保険で要支援の認定を受けた方の介護予防ケアプランを作成します。
後藤哲也 介護支援専門員 兼 認知症地域支援推進員	野上	介護保険で要支援の認定を受けた方の介護予防ケアプランを作成します。認知症関連事業の業務を行います。
立川由里 認知症地域支援推進員	全地区	認知症の人やその家族を支援する相談業務や、医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援等を行います。
熊谷智美 社会福祉士	全地区	高齢者に対する虐待や悪質な訪問販売、成年後見制度利用支援など、高齢者の生活や人権を守るための権利擁護業務を行います。

# ココのえ介護事業センター

《お問い合わせ》  
☎76-3267

## デイサービス便り

デイサービスのご利用日は、月曜日から土曜日まで。  
毎日約30数名の方々が楽しく活動されています。

### 春のうまいもん作り

春の食材を活かしておやつ作りをしました。  
ホットケーキの生地にも春に芽を出したヨモギ  
を入れ、香りのよい生地にもアンコを巻き美味  
しくいただきました。

協力して作ります！



美味しく  
できました！

### 苗を植えましょう

デイサービスの畑で玉ねぎを収穫し、その  
後は夏に収穫できるトマトやキュウリ、ピー  
マン、ナス、カボチャなど夏野菜の苗を植え  
ました。プランターや植木鉢にはマリーゴ  
ールドやインパチェンスなどの花の苗やひまわ  
りの種も植えました。

今年も立派な玉ねぎができました



### 新緑運動会

#### プログラム

1. バトンリレー
2. 茶摘みリレー
3. こいのぼりリレー

行進のあと選手宣誓から  
始まります！

茶摘みをして指先を動かします！



青組がんばるぞ〜♪



# あたたかい 心の輪

## ◎香典返し(二十一件)

### ▽三月

- ・金一封 亡母智恵子
- ・恵良 原田 隆様
- ・一万円也 亡父二三夫
- ・岩の上 菅家 寿様
- ・五万円也 亡姉ハツ子
- ・生竜 穴井萬次様
- ・三万円也 亡夫 昌由
- ・中央一 藤澤フジノ様
- ・三万円也 亡夫 統一
- ・生竜 佐藤信子様
- ・三万円也 亡母久美子
- ・富来口 井上華寿美様

### ▽四月

- ・十万円也 亡妻 千種
- ・川上一 小幡憲一様
- ・金一封 亡父若杉憲一郎
- ・大分市 宇高ひとみ様
- ・十万円也 亡子 友子
- ・北恵良二 二川政己様
- ・三万円也 亡母ケイ子
- ・中村下 橋爪教一様

### ▽六月

- ・三万円也 亡母 文子
- ・黒猪鹿 熊谷比不美様
- ・五万円也 亡妻 千恵
- ・横尾 田中 隆様

### ▽五月

- ・五万円也 亡母テル子
- ・中巢 帆足俊則様
- ・五万円也 亡妻伊佐子
- ・岩の上 飯田英吉様
- ・三万円也 亡母 雪子
- ・上旦二 竹ノ井幸二様
- ・三万円也 亡母フタミ
- ・甘川水 武石ひとみ様
- ・金一封 亡父万寿夫
- ・鹿伏 田邊敬太郎様
- ・三万円也 亡父 伸侑
- ・中津市 藤澤哲也様
- ・二万円也 亡夫 清文
- ・竜門 萩尾由美子様
- ・三万円也 亡叔母田吹和子
- ・菅原本村 小田 譲様
- ・三万円也 亡父 徳也
- ・中村中二 高橋洋徳様

## ◎特別寄付(三件)

- ・三万円也 亡夫 鶴見
  - ・川西二 山口芳子様
  - ・ハガキ 百枚
  - ・青山住宅 後藤イト子様
  - ・金一封 玖珠組仏教婦人会
  - ・五万円也
- 泥よこい歌と踊りの祭典  
実行委員会

**ありがとうございます。**  
令和7年3月〜令和7年6月までの間に次の方から香典返し等のご寄付をいただきました。紙面をもって厚くお礼申し上げます。ご寄付のご厚志は社会福祉の推進のため、有意義に活用させていただきます。  
ご寄付頂いた方々にご了承いただき、お名前や金額等を記載していただきます。ご希望により省略する場合があります。(受付順・敬称略)



## ご寄付ありがとうございました

生竜の佐藤茂喜さんから、ご寄付を頂きました。今年、佐藤さんが設立した九重トヨー住器が設立50周年、生竜温泉七福が設立20周年を迎えたことを記念して、それぞれ50万円と20万円、合計70万円をご寄付頂きました。

佐藤さんは「これもひとえに、皆様のご支援の賜物です。少しばかりですが、お世話になった恩返しとなればと思い、寄付をさせていただきます。」と述べていました。

頂きましたご寄付は、佐藤さんのご希望により各地区こども(多世代地域)食堂運営費などに支出させていただきます。

季節の植物

アザミ

佐藤 三千代 みちしろ

アザミ属はキク属等を含む大きな科の植物です。ノアザミは4月から8月頃の山野に普通に咲くアザミで、他種と間違えることはありません。花に多くの小さな花が集まって一つの花になる頭状花です。これがキク科の特徴です。春の頭花の茎は50cm位ですが、夏に移行すると1mにもなり別種のようにです。アザミ類はノアザミ以外の花期は夏から秋です。

子供の頃ノアザミの枯れた頭花の花の底にいる「イガ虫」を見つけ「アブラメ」「ハエ」釣りの餌に用いました。クヌギのドングリから採る「クリ虫」も同じように使いました。この仲間は葉に「鋸歯葉」をもち、触れると痛いものが多くあります。

※ヤナギアザミはその名の通り優しそうなアザミで平地山地の日陰に生える。キセルアザミ(マアザミ、サワアザミ)は湿地に生える。

モリアザミの花は8月〜10月で直立した茎で葉縁のギザギザが不規則でなく揃っています。食用として栽培され「ヤマゴボウ」とも呼ばれて

ヤマゴボウ漬けが有名です。知人の農家がモリアザミの種子を「ヤマゴボウ」の種子と思い購入し畑に撒いたらアザミの苗が出てきたので、アザミと間違えたと思います、捨ててしまったということがありました。

モリアザミの根は太く垂直に伸ばし、径2cmにもなりません。飯田高原の西部や崩平山麓などに生えています。

※ツクシアザミ、ヒメアザミ、ヤマアザミはともに山地林内に多く触ると痛い。ミヤコアザミ、キツネアザミは名前だけで別属、葉の縁に棘がなく触っても痛くない。タムラソウ、ヒゴタイ、アソノコギリソウは別属。



ノアザミ

今月のちよつと言

先日、大分市に出掛けた時の事、バス待ちをしていて私の前に並んでいた杖を持った高齢の男性が足を一步上げた途端によろけて後ろに転びそうになりました。とっさに背中をささえて事なきを得ました。バスの中でも手を差し伸べてくれる人がいて無事に乗車出来ました。何事もなくほっと胸をなでおろしましたが、私も後期高齢者なので重大さを身をもって知らされた一瞬でした。

ある日には「ちょっと待って」と声がかかり振り向くと女の人が上着のたるみを直してくれました。何気ない行動とやさしい言葉がけでの気遣いが嬉しかったです。

世の中には暴力的な言葉使いがあったりして、嫌な気分になるときもあります。でも、優しく接してくれたりした時は心がほっこりします。私も、ありがとうと感謝の気持ちで毎日を過ごしていけたらと願っています。

(N. K)

シリーズ 町の幸齢者さん



九重町で90歳を過ぎて生き生きと暮らしている高齢者の方へ、  
幸齢者の方に元気の秘訣をお伺いします。



NO.31 南山田 宝泉寺  
中谷記代亘さん(101歳)

Q.元気の秘訣は何ですか？

A.特性の手作り栄養ジュースを飲んでいますが、今でも地下にある温泉に一人で入っています。

Q.楽しみは何ですか？

A.妻と一緒にニュースや時代劇、歌のテレビを午前中に見ることです。

Q.これからの目標を教えてください。

A.「きんさんぎんさん」の愛称で親しまれた成田きんさんの年齢、107歳まで元気に生きる事です。

「幸齢者さん」の情報は、九重町社会福祉協議会 (76-2500) までお電話を！自薦・他薦は問いません！お待ちしております！